

島熊山能面祭

「優秀能面作家」登録と「推薦枠」の新設について

島熊山能面祭にご協力いただきありがとうございます。

皆様のご支援で能面祭も7回目を迎える事ができました。厚くお礼申しあげます。

質の高い充実した全国能面フェスティバルを目指し、これまでも新人賞の新設やコメントの充実など初心者からベテランまでを対象として改革を重ねてきましたが、今回、能面作家の皆様の新たな目標となる制度として、島熊山能面祭「優秀能面作家」登録の新設と、「推薦枠」として作品の募集をおこないます。

新制度の目的

過去6回の能面祭には多くの優秀な能面が応募されてきました。

しかし、昨年（第6回）の審査員総評で「毎年、舞台で使える能面が増え、技術レベルは上がっていきますが、『能楽師が舞いたくなるような能面』レベルへの伸びが鈍く、あと一歩の壁を打ち破る努力をお願いしたい」と指摘され、後世に残る名作と云う高いレベルに達する努力と期待が要請されました。

これまでの優秀な作品に足りない「あと一歩の壁」とは？ 能楽師が「ぜひ使いたい」能面とは？ これらを解明し、近づく事が能面作家の皆さんとの「良い能面を打ちたい」との願いに合致するものだと思います。

島熊山能面祭として、優秀な面打ちの皆さんに「壁を打ち破る」ための援助が出来ないかを模索し、梅若玄祥氏など6名の能楽師の方々の全面的な協力を得て、以下の制度を新設する事にしました。

島熊山能面祭「優秀能面作家」登録の新設

島熊山能面祭で、これまで大賞や特別賞など高いレベルの作品を応募された方々の中から、審査員が優秀な能面制作技術を持つと認めた方を島熊山能面祭「優秀能面作家」として登録し、「あと一歩の壁」を打ち破れる方々として、能楽師の援助や、相互協力のもとで、技術の向上と後世に残る優れた能面を生み出していただけるようアドバイスや支援をおこないます。

登録者は島熊山能面祭「推薦枠」への出品が認められ、今後企画される催し等に参加する事ができます。

将来的には登録者の交流会や登録者の作品を集めた展示会（全国優秀能面作家展・仮称）等を開催し能面制作の指導者として紹介するなど、能面制作の発展に寄与したいと考えています。

登録者は島熊山能面祭ホームページで氏名や作品が公表されます。

今後も島熊山能面祭の応募者の中から作品と実績を審査員が評価し追加登録します。

「推薦枠」の新設

これまでの島熊山能面祭能面募集（一般枠）と並行して、別枠で「優秀能面作家」に登録された方の作品を「推薦枠」として募集します。

時間をかけ評価等を行いますので、募集数は10面までに限定し、一人1面とします。応募は能面に限ります。

「推薦枠」の作品は表彰等を行いませんが、梅若玄祥氏など6名の能楽師が「舞いたくなるような能面」「使いたい能面」を基準に高いレベルから評価し、優れた点や足りない点を、制作者と直接論議を行いながら解説を行い、今後の能面制作の一助にしていただきます。

能楽師が優秀と認めた作品は今後催される演能で使用するため、梅若家や大槻家などが預かります。作品が能楽界を代表する能楽師に使用されることにより、作品も作者も広く能楽界に周知される事になります。預けられた作品の引き上げ、借り出し等は自由ですが、能楽師の使用は無償とします。また、応募作品は、能面祭の展示会に「特別枠」として展示されると共に、図録にも掲載されます。

「推薦枠」応募者は「一般枠」には応募できません。

なお、「推薦枠」を設ける事により、「一般枠」の審査基準が引き下げられる事はありません。しかし、結果的に各賞の受賞機会が広がる効果を生む可能性はあります。

詳細は島熊山能面祭「推薦枠」作品募集要項を参照ください。